

—エンタープライズFAXサーバソフトの最適解！—
MultiPort FAX 3 Adv.のご紹介

2010年 6月

日本ワムネット株式会社

プロダクトソリューション部

WAM!NET®

<MultiPort FAX 3 Adv.について>



■ エンタープライズFAXサーバソフトウェアとして業界トップの実績

1995年の発売以来多数の実績をもつ *MultiPortFAX* シリーズの第三弾

【年表】 1995年 9月	MultiPort FAX Ver1.0 リリース
1998年 2月	MultiPort FAX II Pro./PKG リリース
2002年 1月	MultiPort FAX 3 Pro リリース
2004年 1月	MultiPort FAX 3 Adv. リリース
⋮	⋮
<u>2010年 6月</u>	<u>MultiPort FAX 3 Adv.最新モジュール(SP2.7.2)リリース</u>

■ あらゆる業務システムとFAXサーバの連携をパワフルかつ短期間に実現

■ FAXの送受信に伴う事務作業を効率化のうえコストセーブを実現

■ 自社開発ソフトウェア製品によるサポート力とタイムリーな機能強化を実現

<FAXサーバのニーズ>

運用面

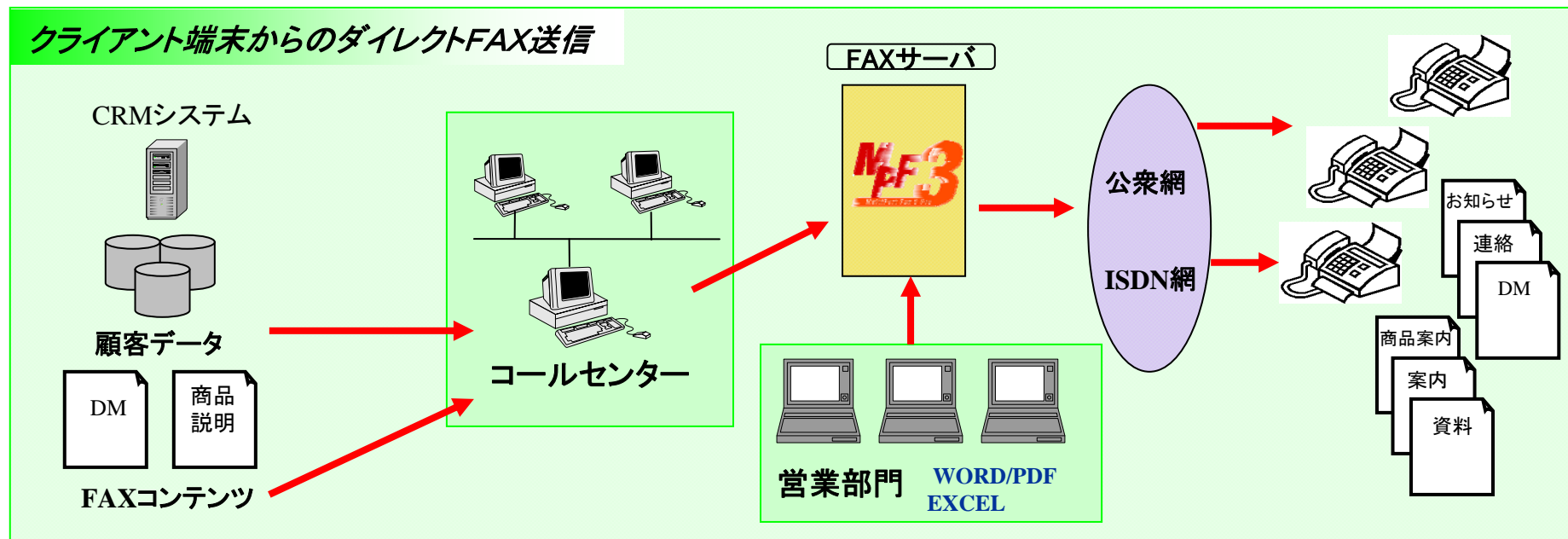
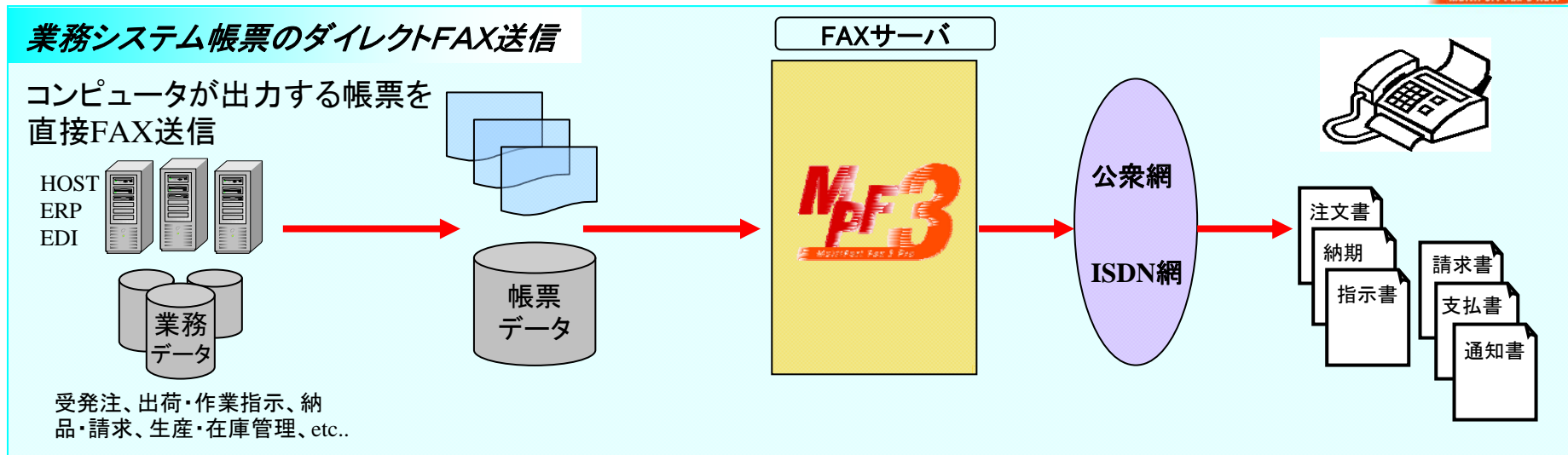
1. 注文書や納期回答書、出荷指示書等のコンピュータ出力帳票を人手を介さずダイレクトにFAX送信したい。
2. コールセンターのオペレータや営業マンのネットワーククライアント端末からFAXをダイレクトに送信したい。
3. 膨大な量のFAX送受信をシステム化したい。
4. 受信FAXのデータを業務システムに入力する処理を省力化したい。
5. 受信FAXの内容をコンピュータでデータ管理したい。

環境面

1. 既存FAXシステムからのダウンサイジング！（コストダウンも）
2. 既存のFAXサーバOSをそろそろ見直しの方へ！

- 人手によるFAX送受信処理をシステム化。
- 業務システムとFAX通信との連携を図り、迅速かつ確実な顧客サービスを提供し、業務効率化による経費削減を図る

< MultiPort FAX の活用分野: FAX送信 >

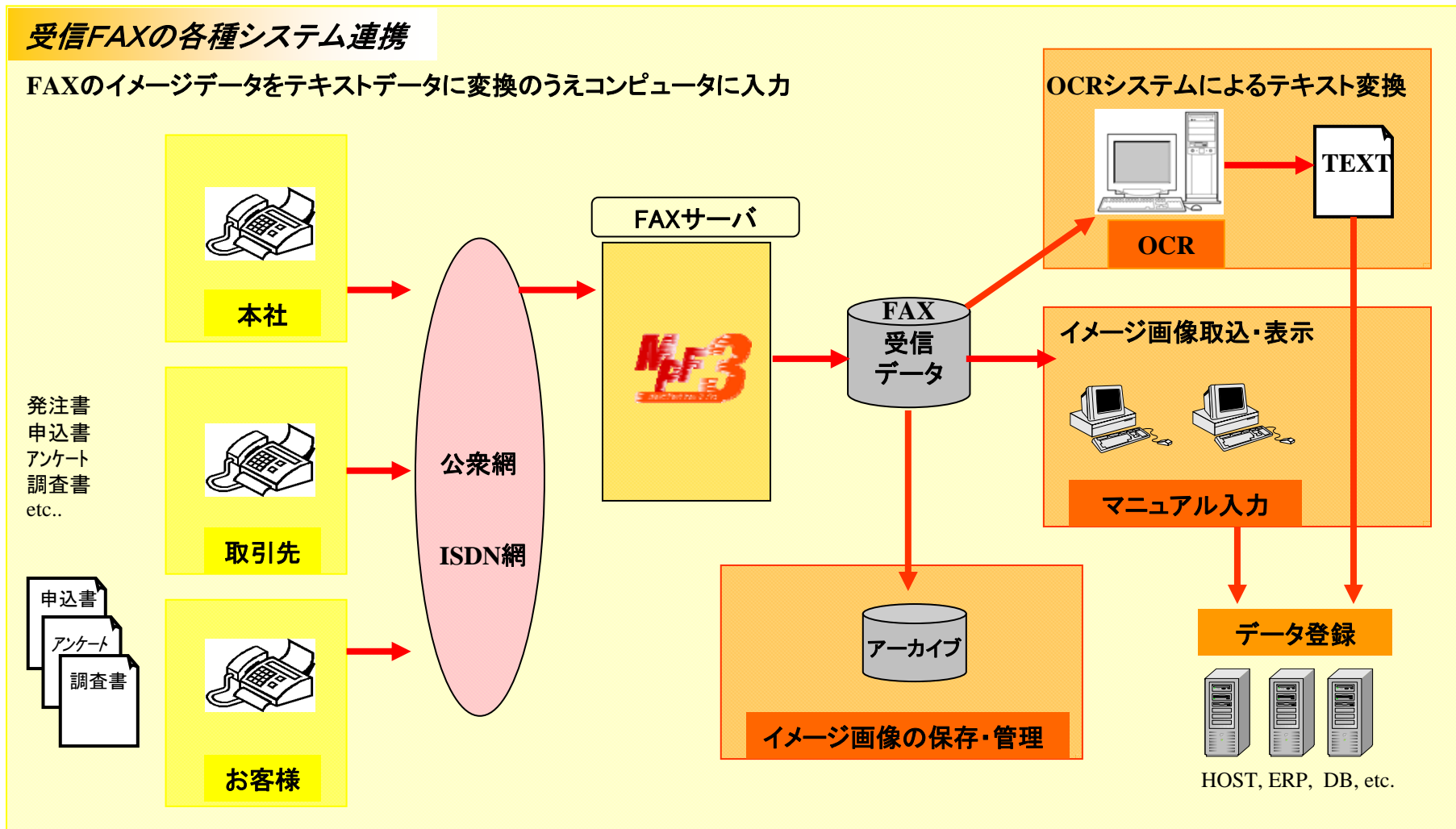


< MultiPort FAX の活用分野: FAX受信 >



受信FAXの各種システム連携

FAXのイメージデータをテキストデータに変換のうえコンピュータに入力



<MultiPort FAX 3 Adv.の特長>

1. FAXシステム開発の容易性と経済性

■ “トリプルA + α ” (AutoSend、AutoReceive、API、AutoSend Plus)により、FAXシステムの開発を効率的かつスピーディーに行えます。

1) AutoSend機能(ノンプログラミング)

監視フォルダに送信データを投入することでMPFサーバがFAX送信

2) AutoReceive機能(ノンプログラミング)

指定したフォルダにイメージ・受信情報をファイルとして出力

3) API(VC++ .net 2003,2005,2008/VC++6.0、VC#.net2005,2008、VB .net 2003,2005,2008/VB6.0)の

利用(オプション)。送信要求(ジョブ)や回線の制御等の関数を豊富に用意

4) AutoSend Plus(ノンプログラミング)(オプション)

テキストファイル形式からMS-Accessを利用してレポート作成しFAX送信へ

■ MultiPort FAX II Pro. で開発したアプリケーションが使用可能

(但し、リコンパイルが必要。仕様変更された関数についても修正が必要。)

2. 試用版(評価版)の充実

1) 仮想デバイスにより、FAX送信を疑似体験

2) サンプルコードの提供

3) 弊社ホームページからダウンロード可能 <http://wamnet.jp/products/mpfax3/download.html>

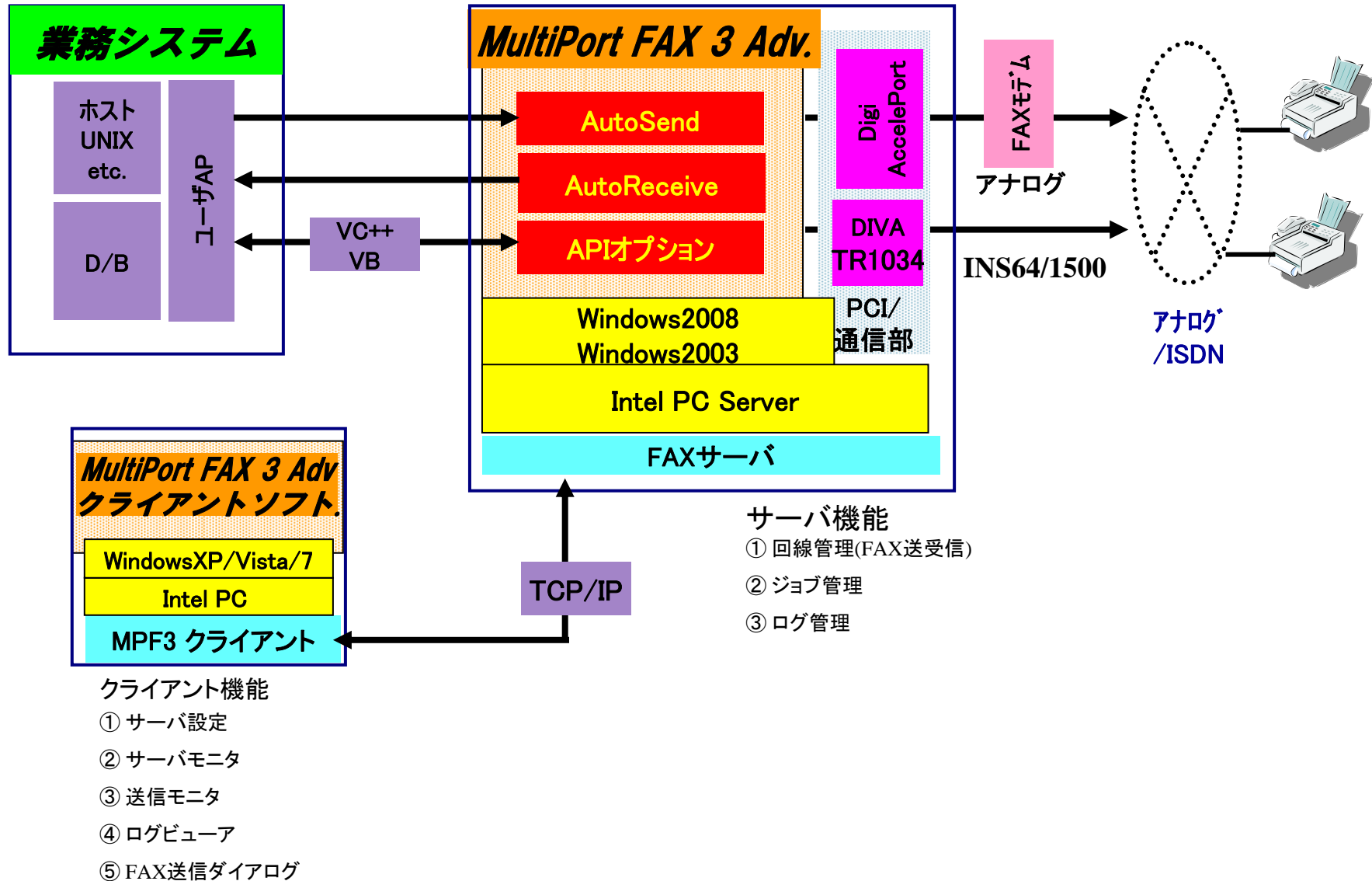
4) 標準機能(APIを含めたフル機能) + 1回線ライセンスで30日間使用可能

3. システムの拡張性:

1) 公衆回線及びINS64/1500対応

2) 1回線から32回線迄、段階的な回線追加に対応(複数台構成により回線数は無制限)

< MultiPort FAX 3 Adv. 機能体系図 >



<FAXサーバ機能>

細かなニーズに対応するFAX送受信機能や、回線管理及びログ管理機能を提供します。

FAX送受信機能	送信機能	・相手先の能力に合わせたFAX送信
		・送信時の通信エラーリカバリ設定 <ul style="list-style-type: none"> －再送信時のリトライ間隔、回数設定 －エラー発生ページからの再送信
		・優先度指定送信と時刻指定送信
		・未使用回線からの送信
		・複数の宛先への同時かつ同一文書の送信
		・送信処理後、指定プリンタからの送信文書自動印刷
		◎ 送信可能ファイルの形式：専用TIFF Class F / JPEG / BMP / TEXT ☆ <u>MultiPortFAX 3 Adv.に同梱のMPFドライバ(仮想プリンタドライバ)にて、専用TIFFファイルを作成頂くことが可能です。</u>
	受信機能	・相手先の能力に合わせたFAX受信
		・受信したFAXを指定したプリンタへの自動印刷
		・受信したFAXを指定したファイル形式での出力
・受信したFAXを指定したユーザへの配信		
◎ 受信出力ファイル形式：専用TIFF Class F / JPG / BMP		
回線管理機能	・回線グループ化	
	・ポート毎の通信設定・管理	
	・ポート状態の監視・制御	
ログ管理機能	・送信ログ、受信ログ、未送信ログの管理	
	・システムログ、ユーザログを分けて管理	
	・自動メンテナンスによりログの自動削除	
	・最大100万件のログ保存にも対応	

<クライアントツール>

【サーバ設定】

- 1) MultiPortFAX 3 Adv.の動作環境設定
- 2) 接続するモデムの設定
- 3) AutoSendやAutoReceiveの設定
- 4) ライセンスの登録、解除

【サーバモニタ】

- 1) 回線の使用状況の把握
- 2) 回線の停止／再開の操作

【送信モニタ】

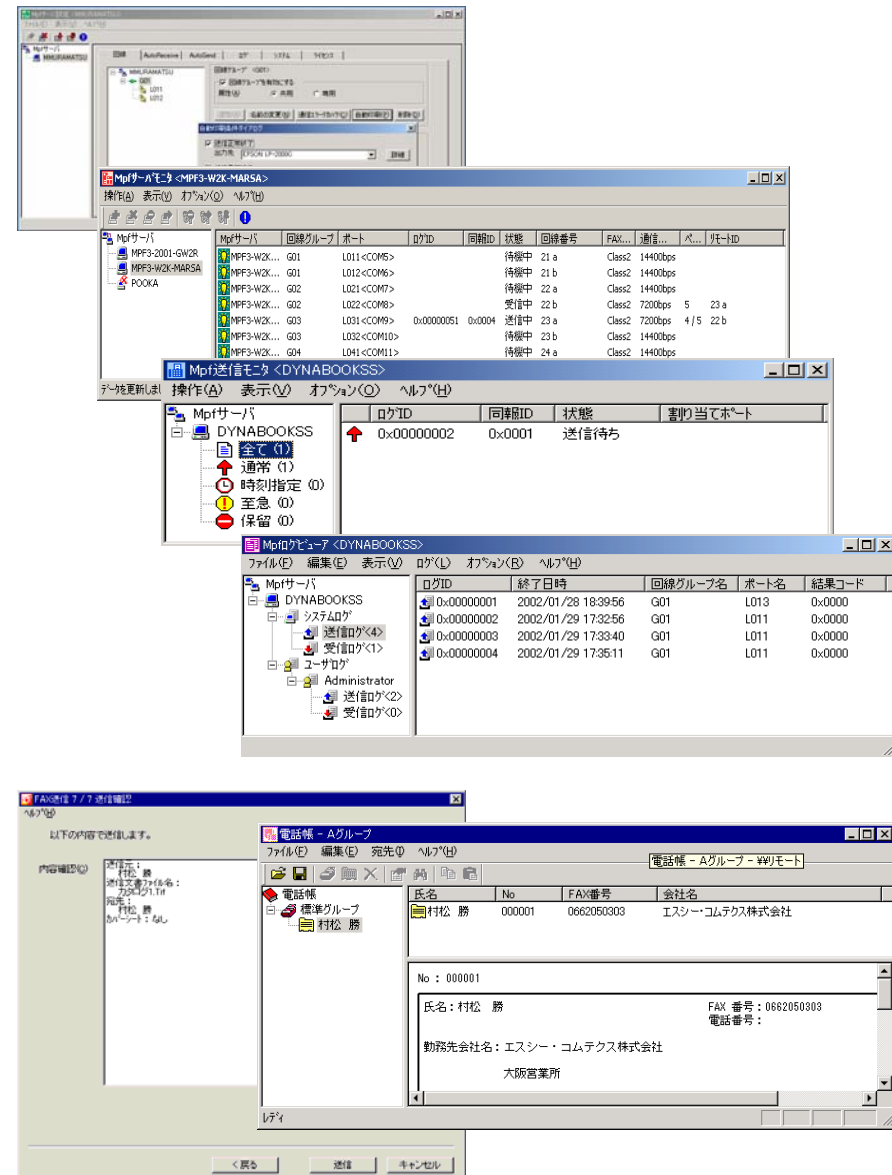
- 1) 送信ジョブの状態把握
- 2) 送信ジョブのキャンセル
- 3) 送信ジョブの優先度の変更
- 4) 送信ジョブのイメージ確認

【ログビューア】

- 1) 送受信結果の把握
- 2) イメージの確認
- 3) FAX再送信指示
- 4) 送受信結果のエクスポート

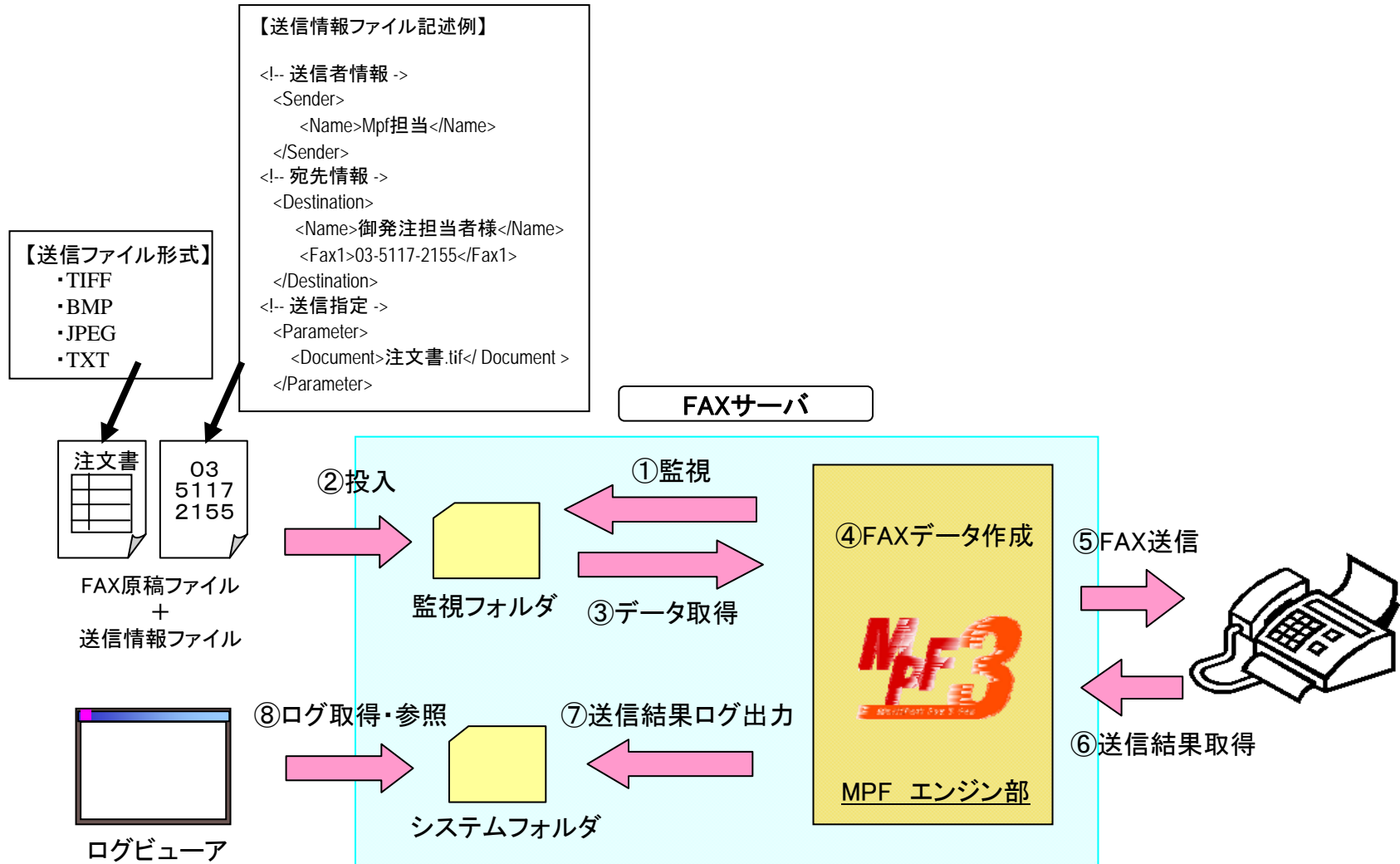
【FAX送信ダイアログ】

- 1) 個人PCからもFAX送信が容易
- 2) 電話帳機能により宛先設定が容易
- 3) 複数宛先指定により同報送信可能
- 4) カバーシート(送付状)も標準で用意



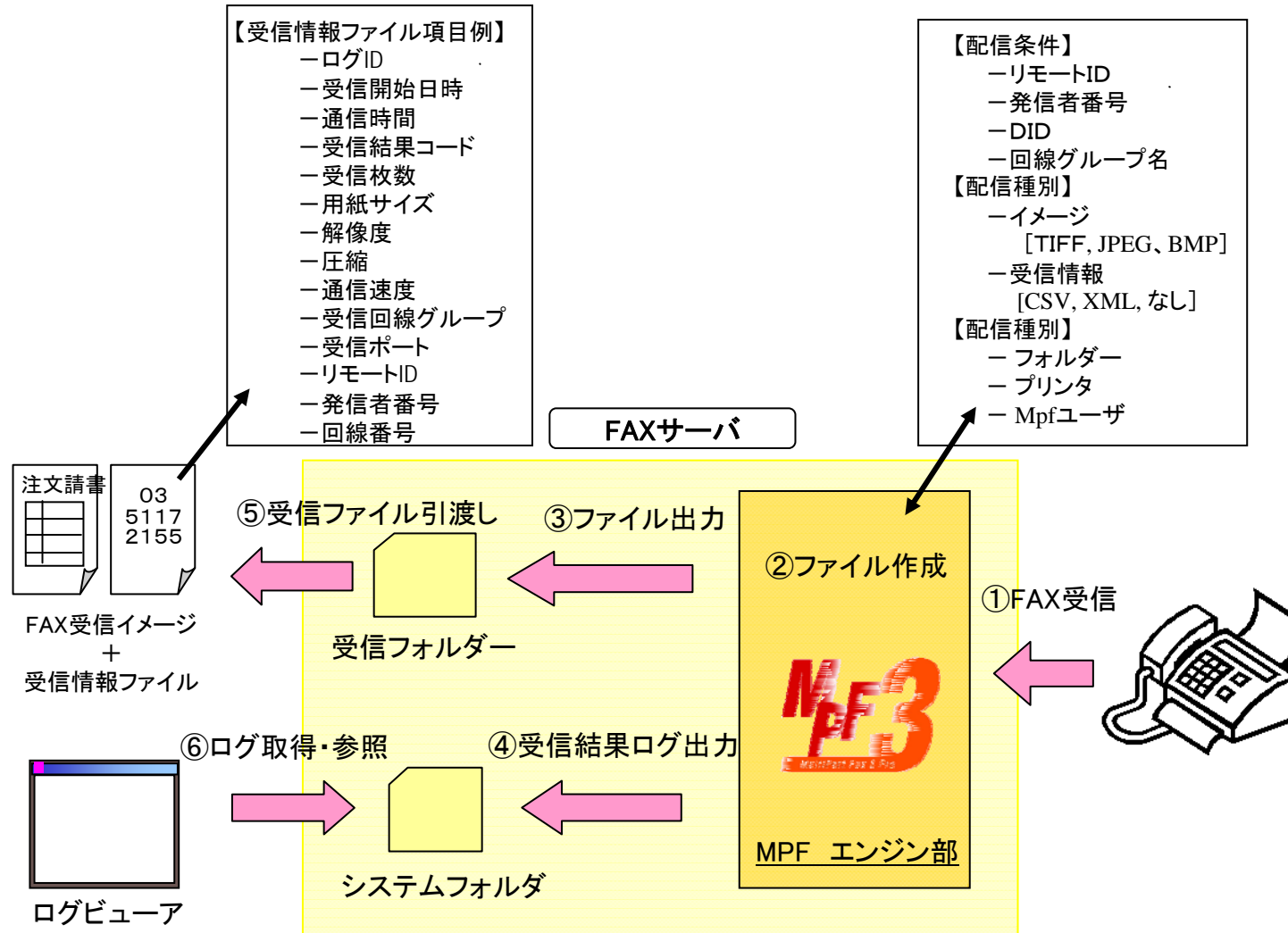
<AutoSend 機能>

AutoSend機能は、送信したい「原稿ファイル(主にtifデータ)」と、その原稿の送信先FAX番号などが記述された「送信情報ファイル(XML準拠のtxtデータ)」をユーザー側で作成して頂き、あとはFAXサーバの「監視フォルダ」にその2つのファイルを投入して頂ければ、自動的に空きポートを検索し、FAX送信・ログ出力を行う機能です。



<AutoReceive 機能>

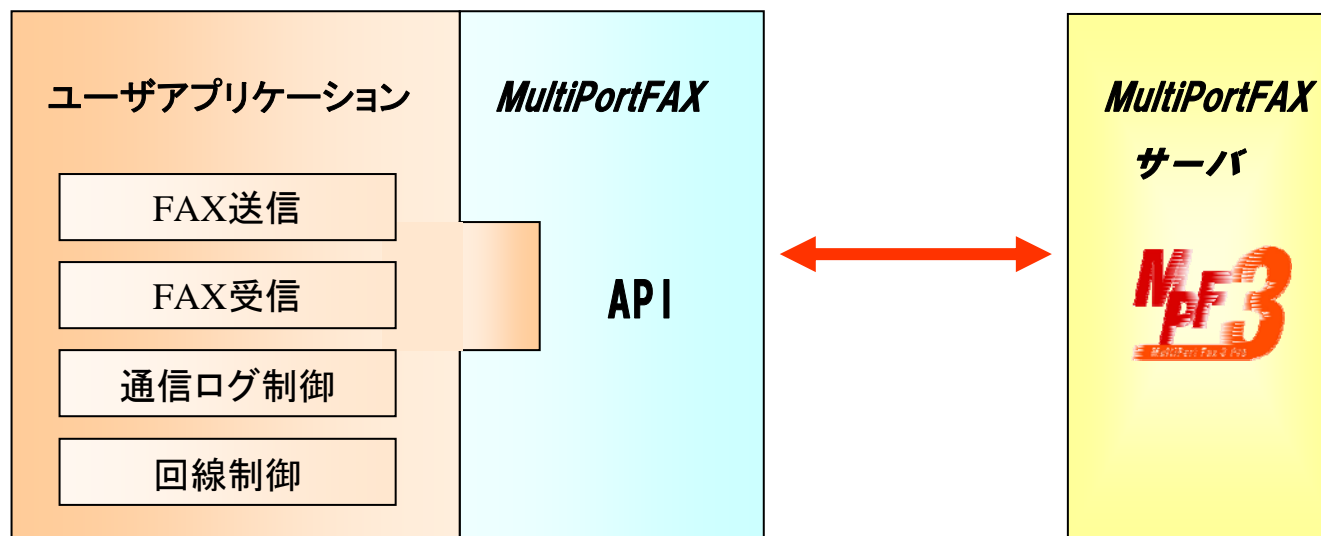
AutoReceive機能は、あらかじめ設定しておいた相手先FAX機や番号から送られてきたFAXを、配信条件に沿って決められたフォルダやユーザに分別・配信する機能です。また、指定したプリンタへ印刷することもできます。



<API オプション>

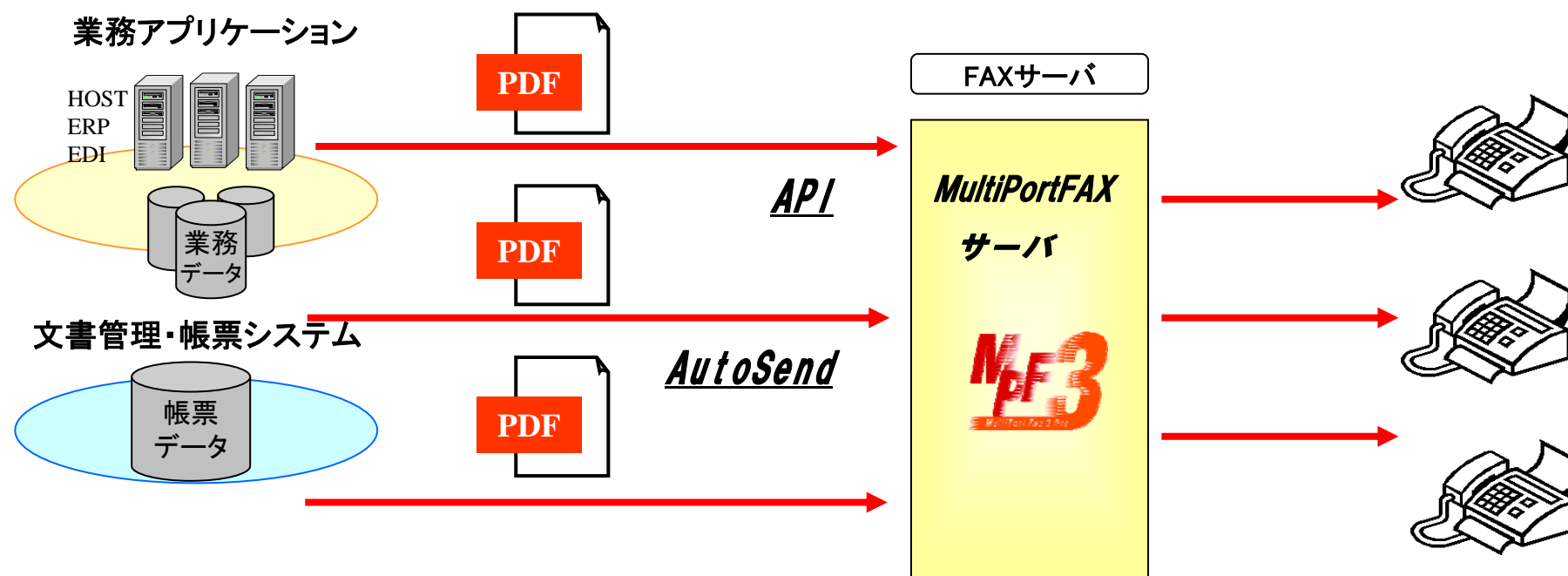
ユーザーニーズに適合するきめ細かなAPIの提供はMultiPort FAX 3 Adv.の特長です。また、MultiPort FAX II Pro. 互換関数を用意し、MultiPort FAX II Pro. からの乗り換えを容易に実現します。API機能はMultiPort FAX 3 Adv. クライアントとして動作し、FAX送信指示、送信結果の取得、ログ管理などフレキシブルなFAXシステムの構築に威力を発揮します。

API機能はVC++.net 2003,2005,2008 / VC++6.0 / VC# .net 2005,2008、及び VB .net 2003,2005,2008/VB 6.0から使用可能な関数形式でMultiPortFAXのクライアント機能を提供します。



<PDF オプション>

ビジネス文書のデータフォーマットにおけるデファクトスタンダードであるPDFに対応。各種アプリケーションとのスムーズな連携、及び文書の生成・保管等のワークフローとシームレスな連携を実現します。PDFオプションは、AutoSend、及びAPIの送信インターフェースにおいてご利用いただけます。



※ ご利用になれないPDFファイルもございますので、詳細はお問合せ下さい。

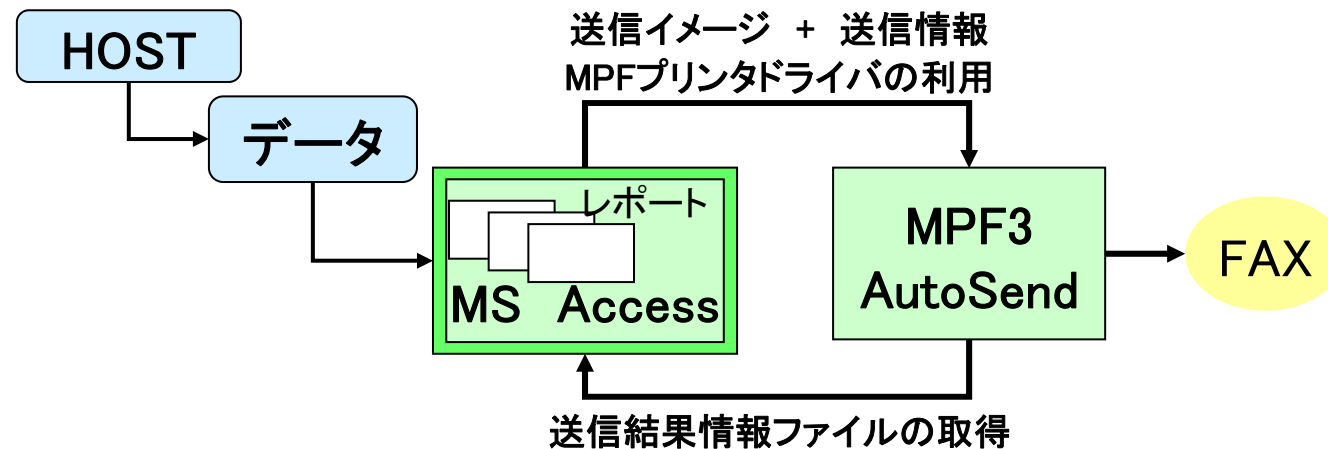
<AutoSend Plus オプション>

AutoSend Plusオプションとは、AutoSend機能を拡張したオプション製品で、テキストファイル形式のファイルを入力として、それをもとにMS-Accessを使ってレポートを作成、FAX送信するツールです。

<主な機能>

- ◎バッチ処理型と自動処理型の2つの出力方法を標準でサポート
- ◎FAX文書はAccessのレポート機能を活用し柔軟なカスタマイズが可能
- ◎ソースコードも同梱しているので、ユーザーニーズに則した設計・運用が可能
(*ソースコードを使用する際は別途保守契約が必要です)

<AutoSend Plusの流れ>



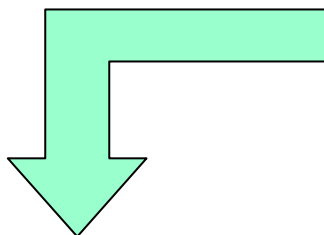
<AutoSend Plusの動作にあたり>

- ◎提供内容: 本ソフトウェア、サンプル帳票、ソースコード
- ◎注意点
 - ・MultiPort FAX 3 Adv. 各本体製品との組合せでのみ動作(本製品のみでは動作しません)
 - ・1MPF3サーバに1オプションを適用
 - ・Microsoft Access2000か2002,または2003が必須
 - ・本製品は、MPFサーバ又はDB (Access)サーバいずれにインストールしても構いません。

<ハードウェア構成>

◎ 通信回線の種類 (アナログ or ISDN)及び回線数 により通信ボード(PCI Express) またはFAXモデムを選択頂きます。

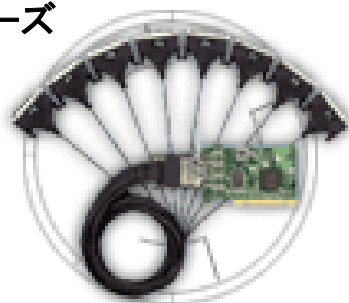
FAXモデム利用時



1. DigiAccelePortシリーズ

ー 拡張シリアルボード ー

PCIボード



2. FAXモデム

ー MultiTech社モデム ー



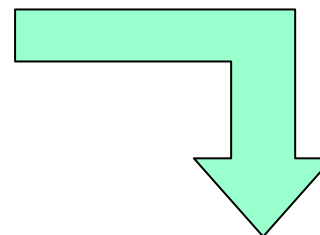
MultiPortFAX

サーバ



Windows
Server

通信ボード利用時



1. Dialogic社製 通信ボード

ー ISDNボード ー

ー アナログ回線ボード ー

PCI Express



2. DSU (ISDNの場合のみ)

ー NTTレンタル品等 (お客様手配) ー

※ BrookTrout TR1034とDIVA UMがあります。

①INS64が1回線用(2B)・2回線用(8B)、INS1500が1回線用(23B)

②アナログ回線が2回線用、4回線用、8回線用



<製品構成>

【本体製品】

- 1) 回線ライセンス:1回線セット(標準価格1,000,000円)から最大32回線セットまで
- 2) クライアントライセンス及びMPF3ドライバーライセンスはフリー
- 3) サポートサービス(初年度は無償):次年度以降サーバライセンス当り300,000円

【オプション製品】

●APIオプション

VC++.net 2003,2005,2008 / VC++6.0 / VC# .net 2005,2008、及び VB .net 2003,2005,2008/VB 6.0でAPIを使用して開発したアプリケーションを利用するためのライセンス(標準価格200,000円)。FAXサーバ1台につき1ライセンスが必要。

●PDFオプション

PDFをFAX送信するためのライセンス(標準価格360,000円)。FAXサーバ1台につき1ライセンスが必要。

●AutoSend Plusオプション

テキストデータからMS-Accessを使用してレポート(帳票)作成し、自動FAX送信するためのライセンス(標準価格700,000円)
FAXサーバ1台につき1ライセンスが必要。

【追加回線ライセンス】

1回線追加版(標準価格200,000円)～(最大16回線追加版)

【回線ボード等】

- 1) ISDNボード : DIVA UM-4BRI-8、Brooktrout TR1034 (BRI/2BRI/PRIインターフェース)
- 2) アナログボード : DIVA UM-Analog-4/8、Brooktrout TR1034 (アナログ2回線、4回線、8回線)
- 3) 拡張シリアルボード(2ポート～16ポート) + FAXモデム

<動作環境>

【MultiPort FAX 3 Adv.サーバ】

Microsoft 日本語 WindowsServer2008 Standard Edition(*)
Microsoft 日本語 WindowsServer2003 R2 Standard Edition(*)
Microsoft 日本語 WindowsServer2003 Standard Edition(SP1)(*)
注 (*):64ビット版には対応していません。

【MultiPort FAX 3 Adv.クライアント】

Microsoft 日本語 WindowsServer2008 Standard Edition(*)
Microsoft 日本語 WindowsServer2003 R2 Standard Edition(*)
Microsoft 日本語 WindowsServer2003 Standard Edition(SP1) (*)
Microsoft 日本語 WindowsXP Professional(SP1以上) (*)
Microsoft 日本語 Windows Vista Business(SP1～) (*)
MicroSoft 日本語 Windows 7 (*)
注 (*):64ビット版には対応していません。

※ プリンタドライバ Microsoft 日本語 WindowsServer2008/2003(*)
Microsoft 日本語 WindowsXP Professional (SP1以上) (*)
Microsoft 日本語 Windows Vista Business(SP1～) (*)
MicroSoft 日本語 Windows 7 (*)
注 (*):64ビット版には対応していません。

【ネットワーク】

1)プロトコル TCP/IP

【FAX通信】

1)通信規格 ITU-T G3
2)回線 アナログ回線、INSネット回線
3)用紙サイズ A4、B4、A3

【MetaFrame動作確認済】

1)MetaFrame Citrix Presentation Server 4.5 (* 一部クライアントツールを除く)
2)クライアント ICAクライアント Ver6.20以降

<サポート>



【MultiPort FAX 3 Adv. Pサポートサービス】

本体製品には弊社出荷時より「13ヶ月間」のサポートサービスが付帯されています。

（但し、本体製品に同封の「Pサポートサービス申込書」にてお申し込んだいた時点からサポート開始となります。）

以降は、30万円／年間（PDFライセンスを含む場合は 40万円／年間）

【対応内容】

電話、E-mail、FAXによる問合せ対応

【対応時間】

10:00 ～ 12:00 及び 13:00 ～ 17:00（年末年始及び弊社休業日を除く）



日本ワムネット株式会社
プロダクトソリューション部

<お問合せ>

■電子メール : mpf-info@wamnet.jp

■ホームページ : <http://www.wamnet.jp/products/mpfax3/>

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-17 パシフィックマークス新川 9F

TEL:(03) 5117-2150 FAX:(03)5117-2155

会 社 名	日本ワムネット株式会社
所 在 地	東京都中央区新川1-5-17 パシフィックマークス新川 9F
設 立	1999年8月30日
資 本 金	2億円
株 主 構 成	住友商事株式会社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、Savvis Communications Inc.
役 員	代表取締役社長 福井 信之 取締役(非常勤) 竹岡 哲郎 取締役(非常勤) 長谷部 敏治 取締役(非常勤) 金治 伸隆 取締役(非常勤) 椿 昌一
事 業 内 容	映像、出版、音楽、ゲーム、印刷業界向けデータ伝送サービス事業 ビジネスユース向けセキュア・ストレージサービス事業 企業間素材データ配信サービス事業 ハウジング及びホスティングサービス事業 VPN監視サービスを含むネットワーク・マネージド・サービス事業 ネットワーク・システムの開発・インテグレーション事業他

